

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No. 30-001		
PDCA	事務事業名	文化財保護事業	部課等名	教育部 博物館	担当 佐々木	
					内線等 7172	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (1) 文化財の保存・伝承 個別施策： ①文化財の保護				
	根拠法令等	文化財保護法、半田市文化財保護条例、半田市文化財保存事業費補助金交付要綱				
	対象・目的	文化財の保存伝承に務めることにより、市民の文化財に対する意識向上及び地域文化の振興を図る。				
	目的を達成するための手段・活動内容	・文化財専門委員会を開催し、市内文化財の調査及び保護について検討を進める。 ・広く市民を対象とした「文化財よもやま話」を始めとする啓発事業を開催する。 ・文化財修理や伝承の経費に対する補助を行い、文化財の保護を図る。				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位
		①文化財専門委員会の開催回数	6	6	5	回
		②山車保存伝承費補助金の支給件数	31	31	31	件
		③無形民俗文化財伝承費補助金の支給件数	6	7	7	件
		事業費	4,643	5,840	5,962	千円
		人件費	7,297	7,449	5,663	千円
		総事業費	11,940	13,289	11,625	千円
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位
	①文化財専門委員報酬	33	28	24	千円	
	②山車保存伝承費補助金	126	126	126	千円	
	③無形民俗文化財伝承費補助金	90	90	90	千円	
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位
		文化財専門委員研究発表会（よもやま話）の1回あたりの参加者数	実績値 35	39	36	人
		目標値 35	35	40		
		実績値				
		目標値				
		実績値				
	目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —			
	事業の評価・課題	A 文化財保護事業では、「半田ハリストス正教会」から申請のあった「聖イオアン・ダマスキン聖堂」及び「聖障（イコノスタス）」の2件について、これらがビザンチン様式の聖堂が普及する以前の聖堂建築の名残を留める建築史上稀有な遺構であること、また、知多半島の歴史、宗教史を知るうえでも重要なものであることから、それぞれを市の有形文化財（建造物及び絵画）に指定した。 文化財よもやま話では、任期満了により新たな分野の専門家を文化財専門委員に委嘱し、幅広い分野でよもやま話を行うことができた。 また、文化財への親しみを目的に、市内の重要文化財を巡るバスツアー「重要文化財探訪ツアー」を開催し、子どもから大人まで幅広い年代の市民に向けて文化財の理解向上を図った。				
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	市民が半田の文化に誇りと愛着をもち、自らが文化の担い手であることや、保存伝承の必要性について考えてもらえるよう、半田の発展の礎となった海運、醸造の歴史や、そこから育まれた山車祭りに代表される各種文化や文化財について、分かりやすく、親しみ易い内容の展示や講座を行う。				
	令和2年度の目標	成果指標	目標値	単位		
		文化財専門委員研究発表会（よもやま話）の1回あたりの参加者数	38	人		